

令和6年第9回(定例会)  
厚真町教育委員会会議録

1 開会

令和6年6月27日(木) 14時30分

2 閉会

令和6年6月27日(水) 17時30分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 長門 茂明 金光 えり 池川 徹 日西 大介

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 阿部 雄史  
生涯学習課参事 乾 哲也

5 会議録署名委員の指名

(金光 えり)

(池川 徹)

6 教育長報告

(1) 行事参加等の動向 (資料1)

(2) 第2回厚真町議会定例会 (資料2)

(資料2-2)

(資料2-3)

【質疑】

金光委員：給食費無償化について、別な形での支援はあるのか。

遠藤教育長：生活保護に準じる世帯について、就学援助をしている。この中に給食費も含まれている。道内で50前後、全国で470前後の

自治体で無償化されている。

池川委員：エアコン、バリアフリー工事について、工期は延ばせるのか。

阿部課長：契約変更で延ばせる。

## 7 所管報告

### 学校教育グループ

(1) 6月の校長会議・教頭会議について (資料3)

(2) 厚真町学校給食センター運営委員会について (資料4)

#### 【質疑】

なし

### 社会教育グループ

(1) 厚真町スポーツ推進委員会議について

(2) 土器作り体験

(3) あつま田舎まつりパレード盛り上げ隊

(4) 豊沢地区埋蔵文化財発掘調査 (資料5)

#### 【質疑】

池川委員：集まりンピックについて、商工会の立場で昨年も話したが、スター券の交換について、生鮮食品などもあるので余らせないように配慮してほしい。

乾参事：参加人数などを検討して対応する。

池川委員：田舎まつりパレードは現地集合になっていたのか。

乾参事：総合福祉センターが集合場所である。

池川委員：駐車場が混み合ったので、学校などに集合して、バスで送迎することを検討してほしい。

乾参事：検討する。なお、厚南地区については、厚南会館に集合し、そこからバスで会場に向かった。

遠藤教育長：フォーラムの試掘調査について、その都度実施するものなのか。

乾参事：平成20、21年に試掘調査を全域で終わらせている。まちづくり推進課で分譲する際に、発掘調査について購入希望者に説明し、

道教委に報告して町教委が実施する。

池川委員：調査が必要な区画がわかっているのなら、なぜ事前に調査して分譲しないのか。

乾参事：事前に調査するとなると、全面調査しなければならないため、経費が大きくなる。住宅基礎等の建設部分のみの調査としている。

## 7 議案

議案第1号 令和6年度厚真町育英資金の貸付けについて (資料6)

### 【質疑】

なし

## 8 協議事項

(1) 厚真町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について

(資料7)

○厚真高等学校教育振興補助事業

### 【質疑】

池川委員：道外の高校が道新に広告を載せていた。ラピダスのベッドタウンとしての位置づけも踏まえて生徒募集をしてみてもどうか。

遠藤教育長：商業高校などは問題ないが、普通科は学区の制限があるので難しい。

池川委員：通学補助があるが、下宿等には対応しているのか。

阿部課長：対応している。(2分の1補助)

池川委員：3本引きなど地域のイベント参加支援も検討してほしい。

○外国青年招致事業

### 【質疑】

池川委員：イングリッシュキャンプの評判がいい。ほかの地域よりも進んでいるが、その先の展望についてがわからない。

遠藤教育長：これからは英語が話せるだけでなく、それを活かせることが

必要になってくる。そのような方向性で検討していきたい。

日西委員：事業費の中に旅費があるのはA L Tの研修などの旅費ということか。

阿部課長：A L Tの研修などがあり、それらに充てられる。

#### ○学校給食センター管理運営事業

##### 【質疑】

池川委員：有効性と効率性の評価がBとなっている理由は何か。

阿部課長：町の食材とすると、時期が限られてしまう。また、まだ割合を増やす余地がある。

遠藤教育長：総合的な判断でBとしている。

日西委員：給食費の納付状況はどうか。

阿部課長：6月時点でほぼ100%。

遠藤教育長：滞納分についても、少しずつ納めてもらっている。

事業評価について妥当性、有効性がA、効率性がBとし、今後の方向性は現状維持とする。

#### ○冒険の杜管理運営事業

##### 【質疑】

金光委員：上厚真小学校の学校林は、昔の林間コースの奥の方だとすると、私有地ではないか。

乾参事：現在は町有地で環境保全林の指定エリアに含まれている。

池川委員：内容は問題ないと思うが、倒木で怪我をした人の話を聞くことがある。点検などはどうしているのか。

乾参事：職員や支援員が点検し、チェックリストを作成している。危険木については、適切に対処するようにしている。

○生涯学習だより・マナビィカレンダー発行事業

【質疑】

池川委員：外部委託した場合の経費について、積算しているか。

乾参事：試算はしていない。

池川委員：何十年も続いている事業で、形式も定まっているのだから、外部委託を検討してもよいのではないか。

乾参事：ひとまず積算してみる。

遠藤教育長：過去にまちづくり推進課の広報と一本化する話が持ち上がったことがある。再度検討する余地があると思う。将来的には全て電子化され、印刷製本費が省かれることになるが、ペーパーレスの実現には時間がかかる。

池川委員：教育委員会だけの費用対効果だけでなく、ほかの広報と併せたときに、町民にとって読みやすいものができるかが重要だと思う。

遠藤教育長：町長部局の事業でも外部評価は実施されている。そちらでも一本化の方向性が指示されたなら、検討の余地がある。また実際に苦勞しているのは、マナビィカレンダーの内容標記に変更があった場合など、対応が非常に難しい。

池川委員：年間のカレンダーではなく、月ごとに発行していけば、その類の苦勞はなくなる。大きなカレンダーを作るよりは、広報で専用ページを用意した方が良いかもしれない。また、予定を載せたくとも、確定していない場合は載せられない。毎月でなくとも、3箇月程度で発行した方が良いのではないか。

金光委員：広報と生涯学習だよりと毎月2回受け取ることになっているため、配布の手間がかかる。

遠藤教育長：編集面の課題と統一に関する課題、マナビィカレンダーの課題、それら情報伝達媒体をどうするかということで、現在は過渡期にあるのだと思う。

池川委員：どこかで試験的に改変するなどして、教育委員会の業務を減らす方向で進めてみてはどうか。同じようなものを発行するならば、まとめて見られるようにした方が町民の利便性が良い。見直す時期が来たと思う。

遠藤教育長：有効性の評価がBとなっているのはなぜか。

乾参事：自治会未加入者に対して配布していないケースがあると思われるため。

遠藤教育長：未加入者でも個別に配布している。AではなくBにする理由、発行物の有効性に疑問が残るのなら、それを示さなければならぬ。

乾参事：実際に活用している町民は多い。

遠藤教育長：それならば、課題はあるとしても有効性はA評価でも問題ないと思う。

池川委員：効率性について、外部委託について模索していないために業務負担を減らせていないのだとしたら、Bとした方がいいかもしれない。

乾参事：外部委託は検討していなかった。

池川委員：外部委託を検証した方が良い。

## ○町民体育祭開催事業

### 【質疑】

池川委員：事業目的がスポーツと親睦とどちらが主なのか分かりにくい。それを妥当とするのか。また、暑い8月が時期的に妥当なのか検討する必要があると思う。

遠藤教育長：企画された当初は農閑期で適切とされたが、現在は判断が難しくなっている。農閑期についても当時とは事情が異なるうえ、農業従事者が減り、サラリーマンが増えている。そのあたりも踏まえて検証が必要だと思う。

池川委員：高齢者向けの軽スポーツ競技なども取り入れることも検討してはどうか。また、自治体参加を勧めるよりも、個人参加を増やしていく方向性で進めた方が、今後はよいかもかもしれない。

乾参事：受け入れ側としてのテントの確保は、気を使っている。昨年はコロナ禍明けで、自治体が参加を見合わせるケースや、新たに転入してきた人などを考慮して、個人参加が増えると予想していた。

池川委員：自治会参加者が焼肉をやっている隣で、個人参加者がそれを見ているという状況も改善した方がいい。スター券で肉をもらえる等商品構成を工夫してはどうか。

有効性はBだと思う。本来なら34自治会の参加が目標のところを15自治会としている。

乾参事：自治会員数が少ない自治会も多いので、この目標設定になっている。

池川委員：参加人数を基準としてはどうか。自治会単位では、競技参加者を自治体が決めるので、必ずしも希望の協議に参加できるとは限らない。それよりも、参加者数を基準とした方が有効性の判断には適切だと思う。

遠藤教育長：自治会にこだわらない方が良いかもしれない。町民の参加率でいうなら、昨年の実績は10%くらいになる。

乾参事：近年の傾向だと、町民参加率は10～13%程度。昨年はコロナ禍明けということで10%弱とやや少なかった。

長門委員：自治会の体育部長宛てに案内されているが、体育部として参加者をまとめられないとしてしまうと、参加者が集まらなくなる。個人参加を視野に入れた運営手法の検討は必要と感じる。

池川委員：スポーツ推進委員が主として開催しているのか。

乾参事：教育委員会の事業だが、広く意見を聞くためにスポーツ推進委員の会議で決めている。

池川委員：日程や競技の課題などを加味しながら決めているのか。

遠藤教育長：日程については、行政主体で決めている。競技内容について、課題を提示して見直しをしている。

遠藤教育長：事業評価は変更なし。妥当性にある課題の部分については、5の課題及び改善提案に移動する。

## 8 その他

(1) 第59回北海道市町村教育委員会研修会（札幌市）（資料8）

### 【質疑】

なし

## 10 次回委員会の開催日程

- ・ 7月29日（月） 午後1時30分（予定）  
総合ケアセンターゆくり

## 11 閉会